

消費税廃止 定例宣言

香川県の消費税廃止各界連絡会と消費税をなくす会は8月24日、高松市で定例宣言を行いました。

香商連の山本貴代事務局長らが「世界ではコロナ禍で消費税を減税している。日本でも取り組むべきです」、「増税する自公政権を選挙で変えよう」など訴えました。1人が参加し、元気に減税署名を訴えました。



九月も四電前行動

香川県では蔓延防止等

重点措置が発令されていますが、金曜行動は感染防止に取り組みながら取り組まれています。毎週、伊方原発の再稼働中止や福島原発事故を繰り返すなど、シユプレヒコールを上げています。9月は3・10・17・24日に三越前スタンディングから始まります。感染状況によっては変更されます。



民主香川

定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

県にコロナで緊急申し入れ

香川県委員会と県議団

日本共産党香川県委員会と県議団は8月24日、新型コロナウイルスから命を守るための県への緊急申し入れを行いました。中谷浩一県委員長、櫻沼二、秋山時貞両県議と岡田まなみ



高松市議、中谷真裕美丸亀市議が県庁に向き、浜田恵造知事が対応しました。申し入れは、各保健所や保健福祉事務所への県庁職員派遣も含めた体制強化、子どもの感染が拡大する中、9月以降の学校対策、検査の拡充、国保料(税)、後期高齢者保険料、介護保険料の減免制度が前年度との比較であり、前年度との比較で減免できないよう独自制度創設。国保に加入する事業者が感染により休業した時の手当制度創設など・項目です。中谷氏は「地方議員を通じて実情をつかんだ。感染対策とともに、無症

ハリー・ライムの映画案内

テーマ【宇宙旅行】
『2001年宇宙の旅』(68年米・英)

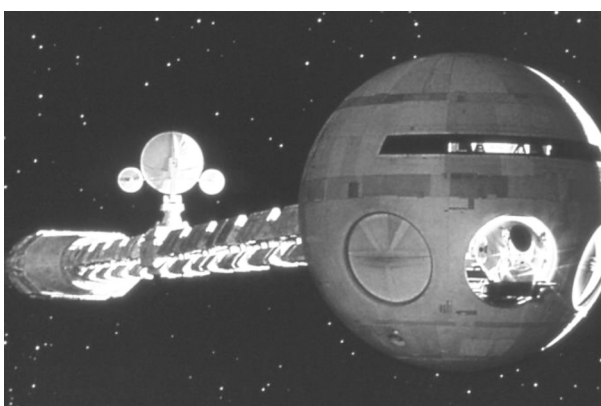
【監督】スタンリー・キューブリック
【出演】キア・デュリア

アマソンの創始者ベゾス氏が宇宙旅行から帰還した。幼いころ夜空を見上げて「いつか宇宙に行けたら!」と夢を抱いたのは私だけではないだろう。当時は技術が追い付いていなかったが、今は「富裕層の宇宙旅行」という現実が立ちふさがる。今回は【宇宙旅行】を。

未来の宇宙旅行も3本。『スター・トレック』(79・米)。絶大な人気を誇るTVシリーズ「宇宙大作戦」の映画版第1

作。「インターステラー」(14・米)。近未来の地球では環境の悪化で人類滅亡の時が迫っていた。人類は、居住可能な新たな惑星を求めて宇宙の彼方に調査隊を送り込むが…。「アド・アストラ」(19・米)。人類の未来を託された宇宙飛行士を描くスペース・アドベンチャー。太陽系の彼方で消息を絶った父の行方と、人類の存亡に関わる大いなる謎を追って自ら宇宙へと旅立つ主人公。

賛否が分かれたが、映画史上のベストテンに入る、殿堂入りの名作SF。人類の夜明けから月面、木星への旅を通し、謎の石版「モノリス」と知的生命体の接触を描く。木星探査船ディスカバリー号での淡々とした日常業務をこなすポウマン船長。やがてコンピュータHAL 9000に異変が起こり、ポウマンは時空を超えた旅を経て、スター・チャイルドとして転生する…。



ベゾス氏に批判が集中している。国際NGOオックスファムは「連邦所得税をほとんど払わないくせに自分の宇宙旅行には75億ドル(約8200億円)使う」と怒り、サンダース米上院議員は「最も裕福な連中は地球の事など気にしない」とツイート。「私的宇宙旅行より地球のことを!」という赤旗の主張(8月11日付)に溜飲が下がる思いだ。

梁居 来夢

四国4県 県委員長会議

四国4県の県委員長会議が8月26日、オンラインで開かれました。総選挙で四国比例に白川よう子氏を必ず押し上げ今度こそ議席奪還を議論しました。報告では「議席獲得への現実的な可能性、条件を切り開きつつある」と強調する一方で「支持拡大など組織的到達は条件を組みつつすには至っておらずこれからの奮闘にかかっている」と述べました。10世帯に一回の宣伝やホ

めざす男たちをドキュメンタリー・タッチで描いた感動のドラマ。有人宇宙ロケットを目標にするアメリカは、空軍パイロットの中でも特に優れた資質「ライトスタッフ」を持つ男たちを選ぶ。「アポロ13」(95・米)。1970年4月、月へ向けて打ち上げられたアポロ13号に爆発事故が発生。ヒューストン管制センターでは3人の乗組員を無事地球に帰すため、必死の救出作戦が展開されていた。ドラマティックな実話を映画化。「スペース・カウボーイ」(00・米)。宇宙に行けなかった老パイロットたちが、人工衛星の修復という任務を受けて40年ぶりに集結、自らの夢だった宇宙飛行へと挑む。

状者の検査強化を求めたい」と力を込めました。櫻氏は、党が提案する緊急提案も話しながら、「症状に応じたすべての患者への医療提供のため、東讃と西讃地域に臨時の入院施設や検査センターの設置を求めたい」と要望。秋山氏は臨時の入院施設と大規模PCR検査の実現を強く求めました。岡田、中谷の各市議は、保健所の実情を訴えマンパワー

オンラインで見よう
日本共産党演説会

コロナ禍をどう克服するの、いのちと暮らしを守る政治とは、世界の新しい息吹を語ります。

●小池晃 書記局長・参院議員
●白川よう子 四国ブロック国政対策委員長
●櫻沼二 西讃地区副委員長

9月5日(日) 午後1時半より

●座談者 二 西讃地区副委員長

香川県委員会 087-834-7311 / 高松地区 087-834-2411 / 西讃地区 0877-23-2314

愚台太

20年前の「9・11」。2001年9月11日午前8時45分、アメリカ資本主義の象徴である2棟の世界貿易センタービルに向かって、ハイジャックされた2機の飛行機が突入。ビルは炎上し崩壊。ハイジャックされたもう1機は国防総省に。1機が郊外に墜落。約3000人の命が奪われた。衝撃的な映像が世界中を巡った。そしてこの日を機に世界は大きく変わった。フッシュミ大統領は、「テロとの戦争」宣言。テロ主犯・オサマ・ビンラディンをかくまったタリバンに対する軍事行動としてアフガニスタン戦争(10月7日空襲)が始まった。米大統領は「ならず者につくのか、俺につくのか」の選択を世界に迫り、北朝鮮、イラン、イラクを悪の中軸と認定。イラクのフセイン大統領を世界のならず者に仕立て上げる▼世界約60カ国600以上の都市で1000万人が「ノーウォー」のデモを展開させる(2003年2月15日)。しかし「アメリカの安全保障はデモの参加者に左右されない」と切り捨て。3月20日バグダッドを空爆開始。小泉政権は、いち早く米軍の反テロ行動支援を決め(9月19日)、自衛官の米軍支援や自衛官を派遣▼今年8月15日、タリバンが首都カブールを制圧。20年を経て振り出した。テロは軍事ではなくならないことを実証▼タリバンは、軍事的に勝利しても完全な統治はまだ。日本政府をはじめ、国連の動向が問われる。国連憲章や日本国憲法9条の原則を生かした世界政治の努力を強く求めたい。(も)